数の 大小の くらべ方

中1／解き方プリント 項目2／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 数直線で 右に ある 数ほど 大きい。負の 数は 絶対値が 大きい ほど 小さい

きまり② 小数と 分数は 小数か 通分で そろえて くらべる。「大きい順」と「絶対値の 大きい順」は ちがう

れい −10 と −1 では、数直線で 右に ある −1 の ほうが 大きい

(○) $-8 < -3$　　(×) $-8 > -3$

・答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。分数は 約分する。○で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。
・大問4(2)は 数を「, 」で 区切って 書く。
・大小を 数直線で 考えて くらべる。
・大問5は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答え（不等号の 式ぜんたい）を、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−9 と −4 の 大きい 方を ○で かこむ**

−9　　−4

(2) **−3.5 と −0.8 の 小さい 方を ○で かこむ**

−3.5　　−0.8

大問2 小さい 順に 並べる

(1) **−6, 2, −4 を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

(2) **$-0.5, -\frac{1}{3}, 0$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

大問3 小数と 分数を くらべる

(1) **$-\frac{3}{4}$ と −0.7 の 大きい 方**

(2) **$-\frac{1}{4}$ と −0.3 の 小さい 方**

大問4 順に 並べる

(1) **3, −7, −2 を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

(2) **3, −7, −2 を 絶対値の 大きい 順に 書く**

大問5 答案を 調べて 直す

(1) **「−6 と −2 は、$-6 > -2$」**

正しい　　まちがい

正しい答え

(2) **−5, 1, −2 を 小さい 順に**
「$-5 < -2 < 1$」

正しい　　まちがい

正しい答え

見直し ☐ 負の 数は 数直線で 右ほど 大きい ☐ 小数に そろえた ☐ 大小か 絶対値か 読んだ まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

数の 大小の くらべ方【こたえ】

中1／解き方プリント 項目2／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 数直線で 右に ある 数ほど 大きい。負の 数は 絶対値が 大きい ほど 小さい

きまり② 小数と 分数は 小数か 通分で そろえて くらべる。「大きい順」と「絶対値の 大きい順」は ちがう

れい −10 と −1 では、数直線で 右に ある −1 の ほうが 大きい

◯ $-8 < -3$　　× $-8 > -3$

大問1 2つの 数の 大小

(1) **−9 と −4 の 大きい 方を ○で かこむ**

−9　(−4)

(2) **−3.5 と −0.8 の 小さい 方を ○で かこむ**

(−3.5)　−0.8

大問2 小さい 順に 並べる

(1) **−6, 2, −4 を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-6 < -4 < 2$

(2) **$-0.5, -\frac{1}{3}, 0$ を 小さい 順に 不等号で つなぐ**

$-0.5 < -\frac{1}{3} < 0$

大問3 小数と 分数を くらべる

(1) **$-\frac{3}{4}$ と −0.7 の 大きい 方**　-0.7

(2) **$-\frac{1}{4}$ と −0.3 の 小さい 方**　-0.3

大問4 順に 並べる

(1) **3, −7, −2 を 大きい 順に 不等号で つなぐ**

$3 > -2 > -7$

(2) **3, −7, −2 を 絶対値の 大きい 順に 書く**

$-7, 3, -2$

大問5 答案を 調べて 直す

(1) **「−6 と −2 は、−6 > −2」**

正しい　(まちがい)

正しい答え　$-6 < -2$

(2) **−5, 1, −2 を 小さい 順に**
「−5 < −2 < 1」

(正しい)　まちがい

正しい答え　同じ

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) を −9 に したら 負の 数を 数字の 大きさで くらべている。−9 と −4 では −4 が 大きい。(2) は −3.5 が 小さい。

大問2 (1) は $-6 < -4 < 2$、(2) は $-0.5 < -\frac{1}{3} < 0$（$-\frac{1}{3} = -0.33\cdots$）。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○。

大問3 (1) $-\frac{3}{4} = -0.75$ なので −0.7 の ほうが 大きい。(2) $-\frac{1}{4} = -0.25$ なので −0.3 の ほうが 小さい。

大問4･5 (1) 大きい順は $3 > -2 > -7$、(2) 絶対値の 大きい順は −7, 3, −2。5(1) は 答案 $-6 > -2$ が まちがい（正しくは $-6 < -2$）。5(2) は $-5 < -2 < 1$ で 正しい。